

平成26年度
(第50期)

事業計画書
収支予算書

自 平成26年 1月 1日
至 平成26年12月31日

目 次

1. 平成 2 6 年度事業計画 . . . P. 1 - 7

2. 平成 2 6 年度収支予算等 . . . P. 8 - 1 3

平成26年度事業計画書

1. 平成26年度事業計画

概況

平成26年度は、昨年度に引き続き2年目（最終年）となる耐震改修工事が行われるため、財団の収支は昨年に増して厳しい状況となります。主にメインホール及びその周辺の施設に於いて、夏場を中心とした約5カ月に亘る改修工事が行われることから、使用料収入が大幅に減少することは大きな痛手ではありますが、創意工夫を重ね、効率的かつ有機的な運営による収支改善に取り組むとともに、公益財団法人としてのコンプライアンス態勢の充実や誘致機能の強化、人材の育成等の諸課題に取り組んで参る所存であります。

また、耐震補強工事リニューアル後に迎える開館50周年を間近に控え、将来を見通し、「会館運営方針」を確実に実施していくための「中長期構想」の骨格を早急にまとめ、次期理事会に提示した上で、26年度中に策定いたします。

(1) 平成26年度業務運営について

①コンプライアンス態勢の充実とその意識の一層の徹底

- (ア) 監事監査と連携した内部監査の実施
- (イ) 契約事務や体制等を審査するための「調達審査委員会」の設置
- (ウ) 発注・管理業務委託契約の見直し
- (エ) コンプライアンス関係ルールのチェック
- (オ) 研修や各種会議開催時でのコンプライアンス意識の周知・徹底

②効率的かつ有機的運営による収支改善

(ア) 経費の一層の削減及び事務の効率化の推進

(イ) 平成25年度に続く積極的かつ戦略的な誘致活動の展開

- ・ ICCA（所属している国際会議協会）データベースの活用により国際会議の情報収集力を強化し、市場の動向をスピーディーに把握
- ・ 大学や学会事務局への訪問頻度を上げ、中・大型医学会等の新規獲得を促進
- ・ マーケティング強化によるリピーター、固定顧客の増加
- ・ 海外で開催されているコンベンション・ビジネス商談会への参加を検討

(ウ) 6階等遊休スペースの活用

学会事務局や国際MICE関連団体等事務局のオフィスとして、遊休スペースの活用を図り、関係者の交流の場や情報発信の拠点作りに加えて、潜在顧客との関係強化及び稼働率の向上を目指します。

※MICE：Meeting, Incentive, Convention, Event & Exhibition

③国及び地元、関係機関、主催者とのより一層の連携強化

(ア) 関係省庁及び日本政府観光局（JNTO）、所属する国際団体との関係強化を図りつつ、オール京都体制でグローバルMICE戦略都市として残るための積極的なアクションを取っていきます。

(イ) オール・ジャパン、オール京都体制での国際会議開催件数の増加及び開催比率の向上を目指します。また、世界における京都の知名度の向上に貢献し、高い波及効果を及ぼす会議の誘致に向け、連携強化を図っていきます。

④会館のプレゼンス向上のための広報・PRの充実

(ア) スマートフォン用ホームページの開設

(イ) 自主企画事業の充実

- ・庭園イベント（日本文化紹介企画、春・秋の「宝松庵」茶会等）、「乾杯の夕べ」の開催
- ・建築・インテリア等の観点からの施設に関するシンポジウム
- ・留学生や学生、小学生等対象の見学会やセミナー等の開催

⑤グローバルスタンダードに対応できる人材の育成

職員の資質や語学力などのスキルの向上を図るため、

(ア) 各界、各層で活躍されている有識者、専門家を招いた研修会（毎月）の開催

(イ) 役職や勤続年数等職階、職務経験等に応じた研修会（外部）への参加

⑥会議運営手法の改善

誘致機能強化及び事務効率化促進のため、会議運営手法の改善を検討します。

⑦その他

(ア) 個人面談制度の充実

平成24年度から導入している職員に対する個人面談（人事ヒアリング制度）について、25年度実施内容をより整備し、コミュニケーションの活性化のみならず、改善を予定している「新人事評価制度」の導入に向けて充実させていきます。

(イ) 環境マネジメントシステム（EMS）の取得

京都市地球環境温暖化対策条例に基づく環境マネジメントシステムの平成26年3月段階での取得を目指します。

(2) 開催予定会議について

現時点での平成26年度の会議開催件数は、国際会議36件、国内会議150件、合計約190件を見込んでいます。これは、平成25年度（見込み）と比較し、約80%に減少していますが、今後、更に件数を伸ばし増収を図るべく努力して参ります。

① 主な開催予定国際会議

	会 議 名	開催期間	参加人数
1	第37回日本眼科手術学会学術総会	1.17～1.19	4,000
2	公益社団法人日本青年会議所2014年度京都会議	1.23～1.26	14,000
3	KYOTO地球環境の殿堂表彰式・京都環境文化芸術フォーラム	2.22～2.23	1,000
4	第41回日本集中治療医学会学術集会	2.27～3.1	5,000
5	第17回国際フリーラジカル学会	3.23～3.26	1,200
6	第114回日本外科学会定期学術集会	4.3～4.5	12,000
7	第18回世界気管支会議・第18回世界気管食道食道科学会議・第37回日本呼吸器内視鏡学会学術集会・第24回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会	4.13～4.16	2,000
8	第39回国際温泉医学会世界会議	5.11～5.14	600
9	第35回国際ヒューマンケアリング学会	5.24～5.28	1,000
10	第113回日本皮膚科学会総会	5.30～6.1	4,300
11	第4回国際肝癌シンポジウムKYOTO	6.7～6.8	700
12	第15回国際伝熱会議	8.10～8.15	1,200
13	第11回科学技術と人類の未来に関する国際	10.5～10.7	900
14	第87回日本生化学会大会	10.15～10.18	4,000
15	第30回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ	11.10～11.12	3,000
16	第55回日本肺癌学会学術集会	11.14～11.16	4,000
17	第24回太陽光発電国際会議・第6回太陽光発電世界会議	11.18～11.27	1,000
18	第43回日本免疫学会学術集会	12.10～12.12	3,000

※平成25年11月末時点で公開可能な会議のみ掲載しています。

② 主な開催予定国内会議等

	会 議 名	開催期間	参加人数
1	第35回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2.1～2.2	4,000
2	第28回京都府消防大会	2.9	2,000
3	第13回日本再生医療学会総会	3.4～3.6	3,000
4	国際ロータリー第2650地区2013～2014年度地区大会	3.29～3.30	2,500
5	第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会	4.17～4.19	2,000
6	第57回（平成26年春）宝松庵茶会	4.29	600
7	第26回日本アレルギー学会春季臨床大会	5.9～5.11	4,000
8	第79回日本温泉気候物理医学会総会学術集会	5.11～5.14	600
9	第50回日本肝癌研究会	6.5～6.6	2,500
10	第24回関西高校模擬国連大会	6.11～6.13	200
11	第52回全国小学校社会科研究協議会研究大会 京都大会	11.6	1,000

※平成25年11月末時点で公開可能な会議のみ掲載しています。

(3) 中長期構想の策定について

以下の会館運営方針を踏まえ、当該方針を着実に実施、実現していくための方策を指し示した「中長期構想」の年度内の策定に向け、作業の促進を図ります。

会議運営方針

- ・「健全な会館運営と社会還元による公益性の追求」
公益目的事業である国際会議や学術会議の積極的な誘致を図り、効率的かつ健全な会館運営を行い、利益を広く社会へ還元すること。
- ・「国際相互理解の促進」
各種会議の開催を通じ、平和、学術・科学技術及び文化等の発展、並びに地球環境の保全等に寄与し、国際社会、国、地域へ貢献すること。

中長期構想項目（素案）

- ・ 国際会議開催件数の増加と開催比率の向上
- ・ 波及効果の高い会議の開催
- ・ 顧客のニーズの変化に対応したサービスの提供
- ・ グローバルスタンダードに対応できる人材の育成
- ・ 安定した収益基盤の構築

（４）施設整備及び小規模修繕について

①施設整備

厳しい財団の収支状況の中、将来を見据えて、修繕や設備投資の中で真に必要なものを優先順位を付け、整備を図ります。

【平成26年度の主な施設整備状況】 ※資産取得計画による整備

- ・ 同時通訳装置赤外線受信機の購入
- ・ コンベンションシステムの改善（XP問題対応）
- ・ 館内案内サインの改善

（５）理事等の改選について

理事8名（約半数）については、平成26年3月の評議員会で任期を迎えることになっています。今後の改選のスケジュールとしては2月に、役員等候補選出委員会を開催し、審議の後、候補を選出する段取りとなっています。

公益財団法人国立京都国際会館 理事及び監事一覧

平成25年3月21日現在

役員名	氏名	団体名及び役職名	分野	任期
理事長	稲盛 和夫	京セラ株式会社名誉会長	産業	H26.3
副理事長	村田 純一	(公財) 京都文化交流コンベンションビューロー理事長	国際	H26.3
常任理事	木下 博夫	国立京都国際会館館長	国際	H26.3
理事	石田 隆一	株式会社イシダ取締役会長	産業	H26.3
〃	井上 正幸	公益財団法人日本国際教育支援協会理事長	国際	H27.3
〃	上村 多恵子	京南倉庫株式会社代表取締役社長	産業	H27.3
〃	門川 大作	京都市長	行政	H26.3
〃	立石 義雄	京都商工会議所会頭	経済	H26.3
〃	谷野 作太郎	公益財団法人日中友好会館顧問	国際	H27.3
〃	堀木 エリ子	株式会社堀木エリ子&アソシエイツ代表者	芸術	H27.3
〃	堀場 厚	株式会社堀場製作所代表取締役会長兼社長	産業	H27.3
〃	松下 正幸	パナソニック株式会社代表取締役副会長	産業	H27.3
〃	松本 紘	京都大学総長	教育	H26.3
〃	山岡 義生	一般財団法人日本パプテスト連盟医療団理事長	学術	H27.3
〃	山田 啓二	京都府知事	行政	H26.3

監事	大宮 正	弁護士 (西村あさひ法律事務所所属)	専門	H27.3
〃	西田 憲司	公認会計士 (西田公認会計士事務所所長)	専門	H27.3

理事15名 監事2名 (五十音順、敬称略)

平成26年度収支予算書

2. 平成26年度収支予算等

(1) 平成26年度収支予算等

- ①収入は、使用料収入10億円に、その他収入93百万円を加え、合計10億93百万円の見込みとなります。
- ②支出は、前年度予算比36百万円増の13億73百万円の見込みとなります。
- ③この結果、26年度予算案における収支は、来年度が耐震改修工事最終年にあたりメインホール等の工事が行われ、増収や経費削減努力に努めるものの、▲2億80百万円の損失の見込みとなります。

(2) 平成25・26年度収支状況

耐震改修工事に伴う平成25・26年度の累計損失は、予算ベースで▲4億74百万円（25年予算▲194百万円＋26年予算案▲280百万円）、予算・決算ベースで▲4億5百万円（25年決算見込み▲125百万円＋26年予算案▲280百万円）程度まで改善する見込みとなります。

(3) 資産取得資金計画について

修繕やネットワークシステムの更新等に備え、25年度決算において、新たに65百万円を積み立てる予定（25年度末残高は1億円）にしております。

1. 平成26年度 予定貸借対照表

(単位：千円)

科 目	26年度予算
I. 資産の部	
1. 流 動 資 産	
現金	5,000
預金	574,758
未収金	197,830
販売物品	60
仮払消費税	0
流動資産合計	777,648
2. 固 定 資 産	
基本財産	
指定正味財産	375,950
一般正味財産	224,050
計	600,000
有形固定資産（通常運用）	
建物附属設備	298,988
車両運搬具	4,822
工具器具備品	424,277
立木	1,000
茶室建物	74,243
茶室附属設備	0
茶室備品	3,018
(計)	806,348
減価償却累計額	△563,589
計	242,759
有形固定資産（第一次運用）	
工具器具備品	55,725
減価償却累計額	△ 49,700
計	6,025
有形固定資産（第二次運用）	
工具器具備品	19,876
減価償却累計額	△ 19,875
計	1
有形固定資産（第三次運用）	
工具器具備品	53,046
減価償却累計額	△ 53,045
計	1
有形固定資産（第四次運用）	
工具器具備品	88,948
減価償却累計額	△ 88,700
計	248
有形固定資産（随時運用）	
工具器具備品	487,011
減価償却累計額	△457,330
計	29,681
無形固定資産	
会議ソフトウェア	11,600
通信加入権	725
(計)	12,325
減価償却累計額	△11,600
計	725
基本財産計	879,440
特定資産	
退職給付資金	260,000
特別修繕資金	8,475
資産取得資金	35,500
計	303,975
特定資産計	303,975
その他固定資産	
投資等	
投資有価証券	95,259
その他固定資産計	95,259
固定資産合計	1,278,674
資 産 合 計	2,056,322

(単位：千円)

科 目	26年度予算
II. 負債の部	
1. 流 動 負 債	
未払費用	70,930
前受金	40,000
一時預り金	34,400
職員預り金	10,000
仮受消費税	7,250
未払法人税等	0
流動負債合計	162,580
2. 固 定 負 債	
保証預り金	60,600
退職給付引当金	260,000
特別修繕引当金	8,475
固定負債合計	329,075
負債合計	491,655
III. 正味財産の部	
1. 指 定 正 味 財 産	
基本財産	375,950
指定正味財産合計	375,950
2. 一 般 正 味 財 産	
基本財産	224,050
事業運営財産	279,440
資産取得準備金	35,500
損失補填準備金	0
繰越金	649,727
一般正味財産合計	1,188,717
正味財産合計	1,564,667
負債及び正味財産合計	2,056,322

平成26年12月31日現在

*その他固定資産 投資有価証券について
債券保有額999,234千円から、指定正味財産、一般正味財産の合計
600,000千円、特定資産の合計303,975千円を引いた額95,259千円を
その他固定資産の投資有価証券として計上した。

2. 平成26年度 予定正味財産増減計算書内訳表

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益事業				収益事業					法人会計	内部取引 消去	合 計
	公益1	公益2	共通	小計	収益1	収益2	収益3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
① 使用料	824,044	0	0	824,044	175,956	29,500	28,000	0	233,456	0	0	1,057,500
会場使用料	824,044			824,044	175,956				175,956			1,000,000
飲食施設使用料				0		27,000			27,000			27,000
駐車場使用料				0			28,000		28,000			28,000
売店使用料				0		2,500			2,500			2,500
② 地下鉄連絡通路料				0			6,500		6,500			6,500
③ 自主企画事業料		18,000		18,000					0			18,000
④ 基本財産等運用益	9,000			9,000					0			9,000
⑤ その他収入				0		2,200			2,200			2,200
経常収益計	833,044	18,000	0	851,044	175,956	31,700	34,500	0	242,156	0	0	1,093,200
(2) 経常費用												
① 事業費	1,064,335	33,402	0	1,097,737	227,334	7,125	27,596	0	262,055	0	0	1,359,792
人件費	302,256	3,821		306,077	64,560	3,821	3,821		72,202			378,279
委託費	182,219	2,270		184,489	38,921	660	14,660		54,241			238,730
運営費	443,229	1,621		444,850	94,670	1,569	540		96,779			541,629
維持管理費	136,631	1,690		138,321	29,183	1,075	1,075		31,333			169,654
地下鉄連絡通路維持費				0			7,500		7,500			7,500
自主企画事業費		24,000		24,000					0			24,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,008	0	13,008
人件費				0					0	3,821		3,821
法人運営費				0					0	7,741		7,741
維持管理費				0					0	1,446		1,446
経常費用計	1,064,335	33,402	0	1,097,737	227,334	7,125	27,596	0	262,055	13,008	0	1,372,800
当期経常増減額	△ 231,291	△ 15,402	0	△ 246,693	△ 51,378	24,575	6,904	0	△ 19,899	△ 13,008	0	△ 279,600
2. 経常外収益												
(1) 経常外収益												
① 引当金取崩			0	0								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
① 引当金積立(固定負債)				0								0
② 固定資産除却				0								0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	△ 10,146	△ 10,146	0	0	0	△ 2,862	△ 2,862	13,008	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 231,291	△ 15,402	△ 10,146	△ 256,839	△ 51,378	24,575	6,904	△ 2,862	△ 22,761	0	0	△ 279,600
当期一般正味財産増減額	△ 231,291	△ 15,402	△ 10,146	△ 256,839	△ 51,378	24,575	6,904	△ 2,862	△ 22,761	0	0	△ 279,600
一般正味財産期首残高			1,468,317	1,468,317								1,468,317
一般正味財産期末残高	△ 231,291	△ 15,402	1,458,171	1,211,478	△ 51,378	24,575	6,904	△ 2,862	△ 22,761	0	0	1,188,717
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			375,950	375,950								375,950
指定正味財産期末残高			375,950	375,950								375,950
III 正味財産期末残高	△ 231,291	△ 15,402	1,834,121	1,587,428	△ 51,378	24,575	6,904	△ 2,862	△ 22,761	0	0	1,564,667
	政府等による国際 会議、学術会議等 に関する事業	国際交流等に關 する事業			公益目的事業に 該当しない催事 に関する事業	飲食・宿泊・売 店等に関する事 業	有料駐車場等に 関する事業					

平成26年度収支予算

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで

(単位：千円)

収 入 の 部			
科 目	当年度(H26)	前年度(H25)	増減
使用料	(1,057,500)	(1,158,000)	▲ 100,500
使用料収入	1,000,000	1,100,000	▲ 100,000
飲食宿泊施設使用料収入	27,000	28,000	▲ 1,000
駐車場収入	28,000	28,000	0
その他収入	2,500	2,000	500
利息収入	(9,000)	(9,200)	▲ 200
基本財産利子	8,900	9,100	▲ 200
受取利息	100	100	0
その他収入	(2,200)	(2,200)	0
地下鉄連絡通路収入	(6,500)	(6,800)	▲ 300
自主企画事業収入	(18,000)	(5,000)	13,000
合 計	1,093,200	1,181,200	

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで

(単位：千円)

支 出 の 部			
科 目	当年度(H26)	前年度(H25)	増減
人件費	(382,100)	(372,100)	10,000
職員給料	228,000	220,000	8,000
期末手当	69,800	68,000	1,800
退職金	22,600	21,300	1,300
通勤手当	8,200	8,000	200
法定福利費	50,500	52,800	▲ 2,300
福利厚生費	3,000	2,000	1,000
委託費	(241,000)	(230,500)	10,500
会場設営費	38,000	38,000	0
駐車場費	14,000	14,000	0
館内案内費	24,000	24,000	0
警備費	34,000	34,000	0
清掃費	46,500	46,500	0
電気機械保守費	66,000	66,000	0
派遣費・報酬等	18,500	8,000	10,500
運営費	(547,100)	(596,400)	▲ 49,300
電力使用料	54,000	39,000	15,000
ガス使用料	77,000	65,000	12,000
水道使用料	3,900	3,500	400
広報宣伝費	5,200	7,000	▲ 1,800
通信運搬費	5,800	5,800	0
運営用消耗品費	16,200	18,000	▲ 1,800
会場運営諸費	385,000	458,100	▲ 73,100
管理費	(171,100)	(160,700)	10,400
修繕保守費	30,000	30,000	0
庭園保守費	26,500	26,500	0
交際接待費	2,500	2,500	0
旅費	8,000	7,500	500
事務印刷費	11,000	12,000	▲ 1,000
保険料	2,100	2,100	0
会議行事費	1,500	1,500	0
諸会費分担金	5,000	5,000	0
諸費	7,000	7,000	0
減価償却費	77,500	66,600	10,900
地下鉄連絡通路費	(7,500)	(7,500)	0
自主企画事業費	(24,000)	(8,500)	15,500
当期収支差額	(▲ 279,600)	(▲ 194,500)	▲ 85,100
合 計	1,093,200	1,181,200	